

## ◆ 最明寺開山八百年記念にむけて

松田町長 本山 博幸

記念すべき最明寺開山八百年をお迎えになりましたことお慶び申し上げます。

今日までお守りされて来られた庶子自治会の関係各位の皆様に対し敬意を表します。

最明寺例祭は、190年以上も続く伝統行事として毎年4月10日に開催され、私にとって春爛漫の中で開催される例祭として記念と記憶にも残る素晴らしい行事であります。先人の皆様に想いますと、神や仏を崇めまた人々の幸運を願った信仰心が強く、今なお人々の心に根付き、その表れが庶子自治会皆様の活動の源になっていると察しています。

今後も例祭に携わる庶子自治会皆様のご多幸と自治会活動のご発展を祈念し開山八百年記念のお祝いとさせていただきます。

## ◆ 開山八百年を迎えて

松田町庶子自治会会長 青木 治

源延上人が松田山に西明寺(最明寺)を開いて、今年で800年。そして、その跡地で施餓鬼会が始まって約200年の歳月が過ぎました。戦国時代に寺が金子の地に移ってしまっても、庶子地区の人々はその跡地を守り、仏像を造って巡行供養を続けてきました。そんな人々の思いが今に繋がっていると思うと、感慨に堪えません。

現在、本会では会員減に悩んでいます。このままだと松田町の大切な伝統文化が絶えてしまうのです。退会された元会員の方々、復帰は叶いませんか。新たに庶子の住人になられた方々、地域の文化を継承・発展させる活動に参加してみませんか。



【令和3年度役員一同】

松田百年記念誌・松田の歴史から▶



松田山最明寺(西明寺)浄蓮上人開山800年▶



# さい みょう じ さい みょう じ 松田山 最明寺(西明寺) 開山八百年記念



【最明寺(西明寺)跡地での施餓鬼会～松田山山頂付近にて～】

令和3(2021)年4月10日  
松田町庶子自治会



# さい みょう じ      さい みょう じ      そ し 最明寺(西明寺)と松田町庶子自治会

## ◆ 松田山の西明寺

かつて松田山山頂付近に「西明寺」というお寺がありました。この寺院は鎌倉時代前期の承久3(1221)年に浄蓮<sup>じょうれん</sup>房源延<sup>ぼうげんえん</sup>によって開かれました。ですから、今年がちょうど開山800年にあたるのです。

源延は源頼朝の御家人となった加藤景員の3男で、歴代将軍の崇敬を受けた伊豆の走湯権現(現、伊豆山神社)の別当(寺務を統括する長官)を務めた人物です。彼は長野の善光寺如来を模して仏像を鑄造させ、それを本尊として西明寺を開きました。その後、13世紀中頃には執権北条時頼の保護を受け、寺は大いに栄えました。ちなみに、寺名を「蓮華王院西明寺」としたのも時頼だと伝えられています。



【春の最明寺史跡公園】

なお、金子に移った西明寺は寺名の表記を「最明寺」と変えました。慶長2(1597)年6月に小田原藩主大久保氏が宛てた文書に「最明寺」とあるのが初見です。

さて、松田庶子には「西明寺が金子に移る際、人々は善光寺如来を模した阿弥陀如来立像をつくった。そして、仏像を厨子に収めて家々を巡り、供養をした」という伝承があります。地元の人々が「お善光寺様」と呼ぶこの仏像の巡行供養は今日まで継承されています(現在は小型のレプリカを使用していますが)。

平成9(1997)年、仏像修理の際「かまくら 扇ヶ谷村 大仏師加賀しゆり(修理)仕候 寛文7(1667)年 丁未八月吉日」という胎内墨書が発見されました。その結果、仏像は町の文化財に指定され、現在は松田町文化センターに展示されています。

しかし、15世紀以降関東では上杉禅秀の乱、永享の乱、そして享徳の乱と戦乱が続き、全国に先駆けて戦国時代へと入っていきます。この様な状況下、西明寺も荒廃していきました。そこで文明元(1469)年、賢昌が再興を期して寺院を大井町金子に移したのです。江戸幕府が編纂した『新編相模国風土記稿』は、松田山を離れた理由を「松田の地は山道が険しく、僻遠の地であるから」、金子の地を選んだのは「松田の旧場に似ているから」と記しています。



【護摩堂跡を仰いで】

## ◆ 最明寺例祭

源延600回遠忌を機に、施餓鬼会というかたちで最明寺例祭が始まったのは文政13(1830)年のことです。最明寺の記録によると、小田原藩主の許可を得た住職実弁が松田惣領・松田庶子両村と金子村の人々と共に始めたのが始まりでした。ですから、この行事も190年以上の歴史を持つ伝統行事なのです。明治政府編纂の『皇国地誌』にも「今モ例年四月十日此處ニオイテ施餓鬼供養ヲ執り行ヒ、近隣ノ男女群衆セリ」と見えるので、明治初期にも西明寺跡地で盛大な法要が営まれていたことがわかります。この例祭を松田町庶子自治会がいつ主催するようになったかは不明ですが、現在も最明寺御住職を導師とし、般若院・東光院・花蔵院・宝寿院・保安寺の御住職をお迎えして執り行わせていただいております。



【正副会長の先導で】



【最明寺護摩堂跡に祀られた「お善光寺様」】

さて、法要は盛土によって周囲より3m程高くなった護摩堂跡で4月10日に行われます。そこには「善光寺如来」と刻まれた古い石碑があり、その前に「お善光寺様」を安置して法要は始まります。この頃、周辺には桜、桃、木蓮、レンギョウと様々な花が咲き乱れ、あたかも桃源郷のような様相を呈しています。なお、昭和46(1971)年に西明寺跡地は「最明寺跡」として町の指定文化財となりました。

## ◆ 松田町庶子自治会

以前「松田庶子戸主会」と呼ばれた本会は、現在でも松田町の谷津・かなん沢・中里・城山の4自治会(旧松田庶子村の領域)に在住する世帯主によって構成されています。会の目的は「会員の福祉共栄を図る」ことにあり、具体的には①共有林の管理や立木の売却処理、②最明寺跡の維持管理と祭典の主催、③桜観音祭典への協力などにあたっています。

しかし現在、様々な要因で会員数は最盛期の四分の一程になってしまいました。このままでは本会が支え、継承してきた松田町の伝統文化が消滅してしまう恐れがあります。そこで、本会の自助努力も当然ながら、皆様方の御理解や御協力も仰ぎたいと思い、この文をしたためました。よろしくお願い申し上げます。



【祭りの準備】